

第22回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2019年11月3日

試合会場

決勝

肯定側:

たま 10周年

否定側:

火星 (環)

判定理由・コメント

否定側の9491-17の立場の擁護の議論構築は十分だったと思います。肯定側は、①論題に議論をスタートすること自体に不透明なほどの価値感が内在していたのか、②単なるメリットとデメリットの比較を超えて論題の根拠の解釈に重要で望ましい価値感があったことを論じることができたと感じました。

また肯定側は、最低賃金を上げて欲しいという人々の理由から論題をもの否定 = この論題のメリットとデメリットを論じることの否定に帰ってしまうことの問題点を論じることでも望みました。

公共圏の議論では、継続するテラスカウンのことについて規範を定めてほしい、それが受容されることもあるために議論そのものの否定をある特定のイデオロギーの具現化である論題と決めつけるより、対抗言説に対する対抗言説を肯定側から出してもらうことがあったと思います。

この試合における勝者は: 否定側 (火星)

ベストディベーターは: _____

審査員署名: _____

第22回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2019年11月3日

試合会場

決勝

肯定側:

たま

否定側:

火星人襲来

判定理由・コメント

とても面白い試合でした。

結果的にクリティーク自体は成立していると考えました。

ちゃんと説明がなされているし、難解でもない。理由で説明するようには、

“政策ディベート”としても言説から議論することは有用であるという議論は否は前提として残っていると考えています。

あと、M対M比較方式は大事だというattackについては、大事な点は分かったものの、クリティークが“タマ”とまではいえなかったように思います。

とすると、様々な疑問は残るものの、否定側が言うような、

言説 → (価値観 → 手段) の順に考えれば、それに対してこの言説がどの位確固たるものか(はアライ(他の考えもある)が)、
- 応、言説を提示してる Neg に wote しました。

Aff は Neg のフレームを否定するだけでなく、Neg のフレームに乗って、

Aff に wote できる... という反論もあったかなと思います。

この試合における勝者は: 火星人襲来

ベストディベーターは: _____

審査員署名: _____

第22回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2019年11月3日

試合会場 決勝

肯定側: たま。10周年

否定側: 火星人 襲来

判定理由・コメント

ポニーテールと考える場合、meritはたまたまのみ。

クリティカル思考。

肯定はポニーテールは急激な決意と美しさの両方、クリティカル思考は急激な決意の上流化価値があり、と書いていた。論議はたまたまの両方と書いていたと理解した。

否定側は、「世に何がなる生活が急激な変化」という価値感に対して、AOI教育で問いかけをした、そのこと自体が価値感を与える運動には価値があると言っている。

どちらの方法（ポニーテールクリティカル）にも世に価値は与えられる。

否定側の表で何がどの程度どうかわるかの証拠は、不十分と判断したため、否定側のテーマメントは、のりませいでした。

最後に、

クリティカル思考（meritのみ） Alternative Note とする。

この試合における勝者は: たま。さん

ベストディベーターは: _____

審査員署名: _____

第22回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2019年11月3日

試合会場 決勝
401

肯定側: たま。〜10周年〜

否定側: 火星人襲来

判定理由・コメント

- ✓ 否定側の、最低賃金引上げが労働者に対する不利益の増大を招くという主張は、元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。また、最低賃金の引上げが労働者の権利を侵害する(※)という主張は、元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。
 - ← 否定側の、最低賃金引上げが労働者に対する不利益の増大を招くという主張は、元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。
 - 不正な労働者の権利の侵害、元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。
 - ✓ 否定側の「対称的議論」も、論題を否定(元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである)とすることで、肯定側の主張が「元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである」という点で、十分な価値感があると思われる。
 - ✓ 単に Judgeや聴衆の意識を「変える」ことが目的である(元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである)。
 - ✓ 元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。
- 以上より、否定側は自己の主張した材料に「元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである」として、十分な価値感があると思われる。
- 元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。元々「A論題(最低賃金の大幅引上げ)とB論題(労働者の権利の不明)」を前提としたものである。

この試合における勝者は: 肯定側: たま。〜10周年〜

ベストディベーターは: _____

審査員署名: _____

第22回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2019年11月3日

試合会場

決勝
401

肯定側:

たま。~10周年~

否定側:

火星入襲来

判定理由・コメント

- ① 政策シミュレーションとして、どちらの政策システムがより社会の便益を高めるか
→ 肯定側 (最低賃金を引き上げた方が良い)
 - ② 言説の社会運動として、この場で宣言することが有意義かどうか
→ 否定側 (ディベートの場で問題のある言説を分析し、対抗言説を提示した方が良い)
 - ③ ①と②のどちらをもって勝敗を決めるべきか
 - A ディベートとして
 - ①の良さ 論理的思考能力が養われる。
 - ↳ 政策シミュレーションじゃないかん 理由は分からない
 - ↳ 誰の論理的思考能力がどのくらい向上するのか別に量的立証はしていない。
 - 政策決定パラダイムの良さはふわっとしている。
 - ②の良さ 論理的思考能力と価値観の是正
 - ↳ 誰の価値観がどのくらい是正されるのかは別に量的立証はしていない。
 - ↳ 論理的思考能力が
 - 対抗言説の提示による社会運動の良さはふわっとしている。
- 論理的思考能力に加えて、価値観の是正もできる②が優位。

↑
※ 同一の立証水準を求めず
↓

B 聴衆にとって

どうだったろう。カッカリしてかな、良いサプライズだったかな。

C ジャッジにとって

ABに加え、本人が今後どのようなディベート界であるべきと考えるか、に照らし合わせて以下

この試合における勝者は: 火星入襲来

ベストディベーターは: _____

審査員署名: _____